【 リモート電源制御装置 RC3008 DHCP OFF 設定手順書 】

RC3008の Ver.1.00 および Ver.1.10 ファームウェアでは、工場出荷時の設定において「DHCP 機能が有効」になっています(取扱説明書には DHCP 機能が無効になっている場合の説明のみ記載されています)。

このため、DHCP サーバが動作しているネットワーク環境に RC3008 を LAN 接続した場合には、工場出荷時の IP アドレスである[192.168.10.1]で接続できない可能性があります。

このように、RC3008 が DHCP サーバより IP アドレスを取得しており、その取得した IP アドレスが不明であるため LAN 接続できない場合には、以下の手順により RC3008 のネットワーク設定を変更して、固定 IP アドレスでご使用ください。

【設定変更手順】

1. RC3008の前面にあるディップスイッチ(図1の⑦)を、「3」のみが「ON」になるように変更します。



2. RC3008の前面にあるリセットスイッチ(図1の⑧)を押してください。

3. ブラウザで[192.168.10.1]に接続してください。図2の画面が表示されます。

🚰 http://192.168.10.1/ – Microsoft Inte	rnet Explorer
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) 🛛 🥂
アドレス(D) 🗃 http://192.168.10.1/	💌 🔁 移動 リンク 🎽
	, 🔺
Management menu	
	000001671075
	00:00:0A:67:10:7E
IPアトレス	192.168.2.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.254
DNSサーバーアドレス	192.168.2.254
DHCP機能	●有効 ●無効
HTTP機能	●有効 ●無効
нттрポート	80
TELNET機能	●有効 ○無効
TELNETボート	23
<u>適用</u> <u>リセット</u>	
•	

図2

- 4. 画面上にて各 IP アドレスの設定を行ってください。
- ① IP アドレス : RC3008 に割り当てる IP アドレス
- ② サブネットマスク :RC3008 のサブネットマスク
- ③ デフォルトゲートウェイ :RC3008 を接続したネットワークのデフォルトゲートウェイ

④ DNS サーバーアドレス :RC3008 を接続したネットワークの DNS サーバーアドレス

※①と②は設定必須です。③と④については必要に応じて設定してください。

5. 「DHCP 機能」を「無効」にしてください。最後に「適用」ボタンをクリックしてください。

6. DIP スイッチを元の位置(すべて OFF)にしてから、リセットスイッチを押してください。

7. 設定した IP アドレスで RC3008 に接続してください。